

第1学年

学年通信

4月 25日

文責 : 吉野

中学校に入学して、早くも3週間が経とうとしています。1か月程前では「中学校ってどんな感じかな?」とか、入学してすぐは「中学の授業や先生はどんな感じかな?」「友達とうまくやっていけそうかな?」など、様々な不安や思いがたくさんあったかと思います。けれどもきっと大丈夫です。小学校の入学時のときにも大きな不安を抱えながら、6年間立派に過ごしてきたではないですか。ゆっくりでいいのです。ゆっくり慣れていけばいいのです。大人の期間はおよそ60年間もあるので、とても短いこの中学校の期間を、ゆっくりと大切に味わいながら、共に楽しく過ごせることを期待しています。

さて、5月23、24日には中間テストがあります。小学校のときのテストとは違い、各教科の学習範囲が非常に広いものになっています。初めての定期テストなので、「何をしたらいいかわからない。」「勉強方法がわからない。」ということがあって当然です。授業中に各教科の先生がアドバイスをしているので、しっかり聞いておいてくださいね。また、他にも困ったことがあればどんなことでも気軽に先生に相談してください♪

最初の学年集会で学年主任の大倉先生から話がありましたが、どんな内容だったか覚えていますか?

「あいさつ」でしたね。「あいさつ」にも色々あると思います。大きな声、小さな声、早口なあいさつ…など。あいさつは、相手に伝えるものなので、時には返って来なかったり、うまくその人に伝わってなかったりすることもあるかもしれません。そんな時はどうしても不安に感じてしまうのも当然です。しかし、私にとってはそれよりも自分自身の「心のバロメーター」だと思っています。相手あることには常に変化や違いがあるものです。しかし、自分のことは常に自分でコントロールできるはずですよ。自分が笑顔であいさつしたか、気さくにあいさつしたか、それとも暗い顔であいさつしたか…

「あいさつ」から見えるのは何も他人の反応だけでなく、自身の在り方についても気付けるので、私は大事にしていきたいと思っています。^o^